

会議録

会議録	平成26年度 第3回豊田市公共交通会議
次 第	<ol style="list-style-type: none">1 開 会2 会長あいさつ3 議 事 【協議案件】<ol style="list-style-type: none">(1) 基幹バスの運行日の変更について<ul style="list-style-type: none">◆豊田東環状線◆土橋・トヨタ記念病院線(2) 基幹バスの車両追加について<ul style="list-style-type: none">◆藤岡・豊田線（西中山経由）(3) 基幹バスのバス停名称変更について<ul style="list-style-type: none">◆藤岡・豊田線（加納経由）(4) 生活交通改善事業計画の策定について(5) 地域バスの路線改編等について<ul style="list-style-type: none">◆ふれあいバス（路線①）◆藤岡地域バス（三箇線・西市野々線）◆松平ともえ号◆小原地域バス◆旭地域バス（地域巡回線・通学線）4 その他<ol style="list-style-type: none">(1) とよたおいでんバス交通系共通ICカード導入に向けての生活交通改善事業（案）について(2) 次回、会議の開催予定について5 閉 会
日 時	平成27年2月5日（木） 13:30～15:00
場 所	豊田市役所 東庁舎7階 大会議室1・2

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 岩田 明 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所) (代理：新見) 小河原 恵吾 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理：鈴木) 古橋 昭 (愛知県地域振興部交通対策課) (代理：磯谷) 山田 篤司 (愛知県豊田加茂建設事務所) 伊藤 豊明 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所) 三浦 昇 (愛知県警察 豊田警察署) (代理：緒方) 高木 幹雄 (愛知県警察 足助警察署) 近藤 直人 (豊田市都市整備部) 小澤 伸也 (社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会) 鈴木 重郎 (豊田市老人クラブ連合会) 土居 友二 (豊田商工会議所) 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会) 古田 寛 (公益社団法人 愛知県バス協会) (代理：富山) 大久保 彰 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理：田村) 今川 孝英 (名古屋鉄道株式会社) 加藤 直樹 (名鉄バス株式会社) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 安達 雄彦 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次第・配席図 2. 資料1～9：豊田市公共交通会議 平成26年度第3回会議資料 3. 当日配布資料：とよたおいでんバスへの交通系共通ICカード導入に向けての生活交通改善事業(案)について

(要約)

3 議事

【協議案件】

(1) 基幹バスの運行日の変更について

◆豊田東環状線

◆土橋・トヨタ記念病院線

○ 事務局 資料1に基づき説明。

意見等なし。

(2) 基幹バスの車両追加について

◆藤岡・豊田線（西中山経由）

○ 事務局 資料2に基づき説明。

○ 委員 PRについてだが、ホームページ以外にも幅広く周知してはどうか。

○ 事務局 現在、豊田東環状線において1日3往復で運行している。水素ステーションの都合等で突然運行が変わることもあるため、情報の反映が可能ということでホームページ掲載を行っている。また主要バス停にはチラシを貼って周知を行っている。なるべく多くの方に利用してもらいたいと考えているため、もう少しわかりやすい周知方法については今後も検討していく。

○ 委員 バス運行については、急な変更等は難しいので、詳細について、今後も市役所ともよく調整していく予定である。

(3) 基幹バスのバス停名称変更について

◆藤岡・豊田線（加納経由）

○ 事務局 資料3に基づき説明。

○ 委員 バス停名称に（旧 交通公園前）と旧称を残すことはしないのか。

○ 事務局 旧称を残すことは予定していない。

(4) 生活交通改善事業計画の策定について

○ 事務局 資料4に基づき説明。

○ 委員 バスロケーションシステムを、補助金を使って導入するならば、撤退をせず責任を持って現状の交通網を維持する考えであると捉えて良いか。

○ 事務局 その意向があつての導入であると捉えている。

○ 委員 一般的にバスに関してのアンケート調査では、バス遅延に関する不満が多い。

こういったサービスを開始することについてイベント等を含めてPRすることが有効だと思う。

○ 事務局 ご意見を参考にさせていただく。

○ 委員 他市での導入実績を見ると、導入後には問い合わせが激減している。導入により不安解消に一定の効果があった結果と捉えている。また恒常的な遅延箇所等を把握できることにより、バスの最大の商品であるダイヤについて、より適切に改善できると考えている。先ほど話のあった撤退などについてだが、こういった環境改善によりバス離れを食い止め、新規客層を取り込むことで路線維持につなげたいと考えている。

(5) 地域バスの路線改編等について

◆ふれあいバス（路線①）

- 事務局 資料5に基づき説明（高岡支所）。
意見等なし。

◆藤岡地域バス（三箇線・西市野々線）

- 事務局 資料6に基づき説明（藤岡支所）。
意見等なし。

◆松平ともえ号

- 事務局 資料7に基づき説明（松平支所）。
意見等なし。

◆小原地域バス

- 事務局 資料8に基づき説明（小原支所）。
意見等なし。

◆旭地域バス（地域巡回線・通学線）

- 事務局 資料9に基づき説明（旭支所）。
- 委員 路線については前例踏襲ではなく、最前な経路かを検討した結果ということで良いか。
- 事務局 路線定期運行から、一部不定期運行を導入し、利用実態に合わせて便数等を調整してきた経緯がある。経路等については、自治区や老人クラブ等、地域の意見を汲み取りながら検討した結果である。

4 その他

(1) とよたおいでんバス交通系共通ICカード導入に向けての生活交通改善事業（案）について

- 事務局 当日配布資料に基づき説明。（本会議以降状況が整い次第、書面での決議を依頼。）
- 委員 開始時期については、平成27年4月か、平成28年4月なのか。
- 事務局 平成27年4月に補助金申請を行い、平成28年4月から供用開始予定である。
- 委員 補助金の入金について、財源の詳細についてご教授願う。
- 事務局 事業費総額で1億5千万円を予定している。車載器1台あたり300万円弱で補助金により全体の3分の1（5千万円）程度の補助を見込む。ただし満額の補助が難しいことも想定はしている。いずれにしても、市と国で費用を拠出し、機器の所有は名鉄となる。
- 委員 乗務員の負担軽減に非常に有効だと思われる。なるべく早めに実施してほしい。
- 委員 事業計画について、補助対象事業者の名鉄以外の社名が見受けられるので、内容の整理が今後必要である。
- 事務局 ご指摘のとおり今後調整する。
- 委員 今、内容の整理等について指摘があった通り、機器の所有者と使用者が異なる珍しいケースである。よって補助スキームについて関係機関とよく調整をしながら事業実施を目指したい。
- 委員 初めてのケースであるため、導入に際して利用者に迷惑のないよう努めたい。

(2) 次回、会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成27年6月頃に開催を予定している。

以上